

# JSPO SAPプログラム 選択プログラムのご紹介 (令和8年度版)

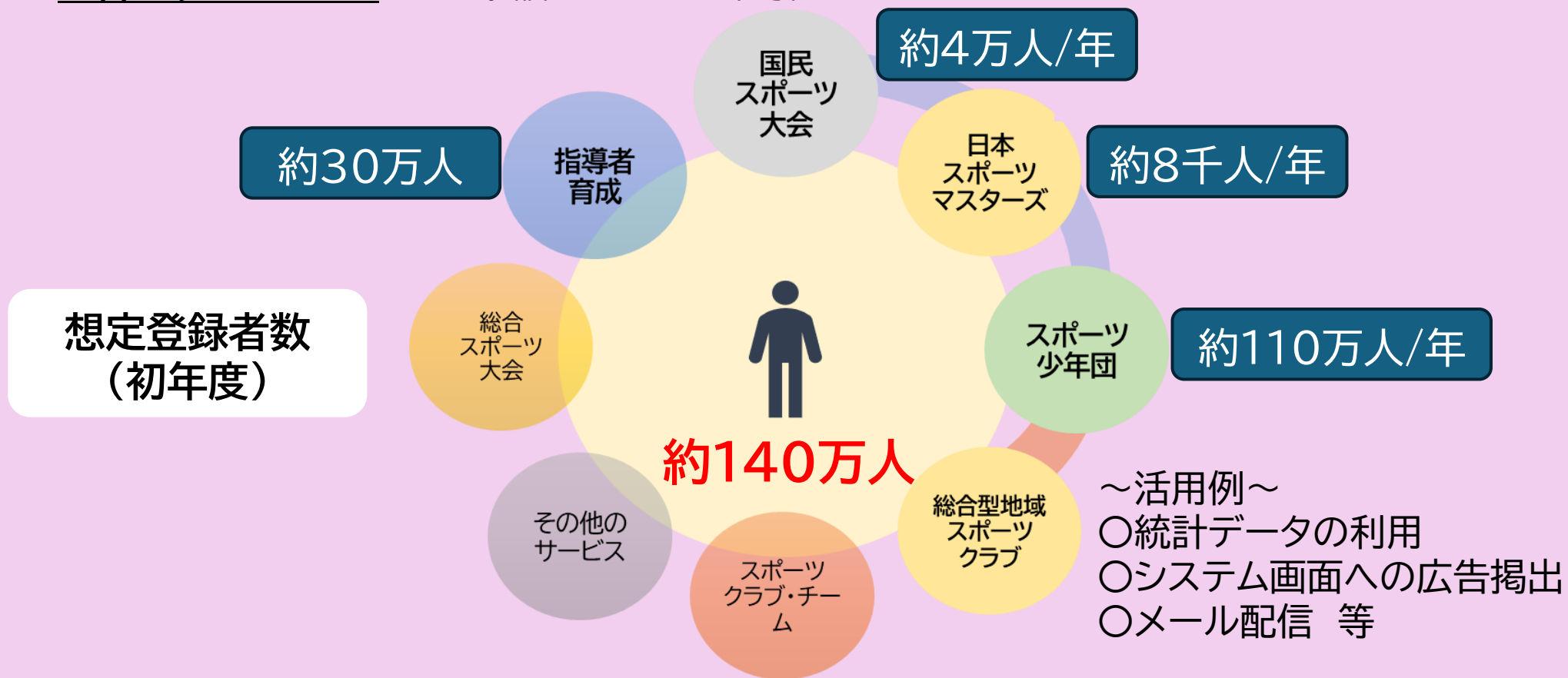


# 選択プログラム

- 「MyJSPO」 ……1
- 国民スポーツ大会 ……2
- 総合型地域スポーツクラブ ……4
- JSPO公認スポーツ指導者 ……6
- スポーツ少年団 ……8
- スポーツ医・科学研究 ……11
- 国際スポーツ交流 ……13
- 「NO!スポハラ」 ……14

# 「MyJSPO」

「MyJSPO」とは、JSPOが実施・提供する事業やサービスの内容をオンライン上で一元的に管理するシステムのこと。(個人アカウントの付与)



ニーズに合わせてカテゴライズし、  
生涯にわたりスポーツに関わる人々に直接的なアプローチ

# 国民スポーツ大会 vol.1



都道府県の代表として  
国内トップレベルの  
選手が全国から参加。

1大会に参加する  
選手・監督の人数  
**約2万5千人**

正式競技・特別競技・公開  
競技・デモンストレーショ  
ンスポーツなど、様々な  
競技を観戦。

1大会に来場する  
観客のべ人数  
**約34万人**

ライブ・アーカイブ動画の  
配信も実施。

国スポチャンネル総閲覧数  
**約700万回**

開催県の市町村で実施さ  
れる各競技には、競技役員  
やボランティアが多数参加。

1大会に参加する  
ボランティアのべ人数  
**約1,500人**  
競技補助役員  
**約6,000人**

大会を「**する**」「**みる**」「**ささえる**」方々へのアプローチや、  
大会を通じて「**あつまる**」「**つながる**」機会の創出

# 国民スポーツ大会 vol.2



競技会場内への  
看板掲出



PRブースでの  
出店



※開会式来場者(佐賀大会): 約1万7千人

マーチャン  
ダイジング権



オプション

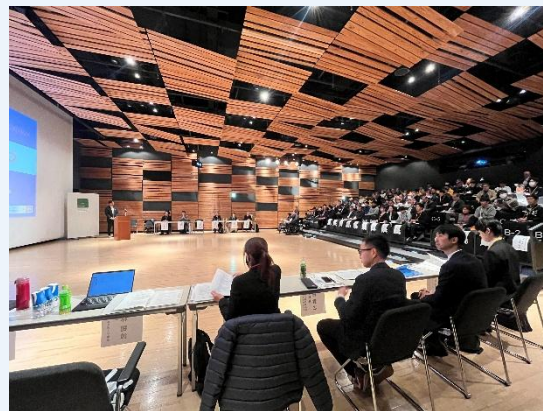
ゼッケン協賛



※その他、呼称権の使用、式典へのご招待、開催県作成の広報媒体へのロゴ掲出 等

大会会場におけるマーケティング活動の展開、  
大会参加者・関係者、地元住民に向けた企業名の露出

# 総合型地域スポーツクラブ vol.1



## 総合型地域スポーツ クラブ全国協議会

○登録数 **約1,100クラブ**

## 9ブロック別 「クラブネットワーク アクション」

○全国のクラブ関係者等  
**約700人/年**が参加

## 総合型クラブ メールマガジン

○2か月に一度配信  
○登録者は **約4000人**

1,000以上の登録クラブ関係者(クラブ経営者、指導者、会員等)への  
幅広い直接的なアプローチ

# 総合型地域スポーツクラブ vol.2



## 《「登録」と「認証」のイメージ》



## 《登録・認証クラブとの連携イメージ》



### <クラブの課題(例)>

- 人手不足の解消
- 会員獲得に向けた方策
- 経営資源の獲得

### <企業の課題(例)>

- 健康経営への取組
- 地域社会との連携
- 社会貢献活動の促進

社会課題の解決に向けた総合型SCの取組への支援・協働  
⇒ 自社課題の解決や新たな経済的・社会的価値の創造

# JSPO公認スポーツ指導者

公認スポーツ指導者資格[5領域19種類]資格保有者数  
(令和7年10月1日時点)

《運動部活動の地域展開における質の高い指導者の配置》

- 競技別指導者資格  
…約18万5000人
- メディカル・  
コンディショニング資格  
…約1万4000人
- フィットネス資格  
…約4万5000人
- マネジメント資格  
…約6,200名
- スポーツ指導者基礎資格  
…約5万5,000名



資格保有者:  
合計約30万人(※)

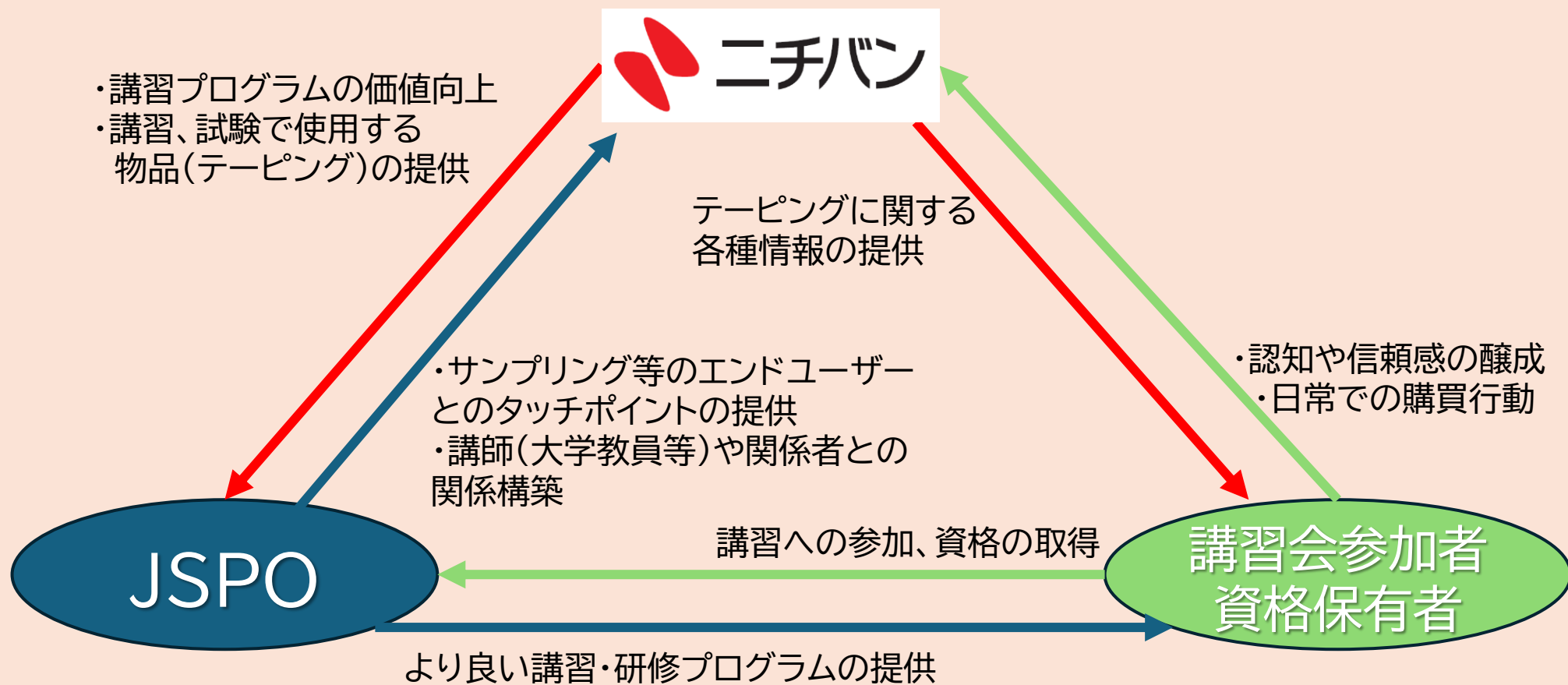
※延べ人数

詳細なセグメンテーションに基づくターゲティング  
※年齢・性別・居住地・指導現場(競技レベル、指導対象、活動場所等)



# アクティベーションの事例

【公認アスレティックトレーナー養成におけるニチバン株式会社様との事例】



協賛社、JSPO、登録者(ユーザー)における課題解決  
およびメリットの最大化を実現するスキームの構築

# スポーツ少年団 vol.1



## スポーツ少年団の理念

(1962年創設)

- ◆一人でも多くの青少年にスポーツの喜びを提供する
- ◆スポーツを通して青少年のこころとからだを育てる
- ◆スポーツで人々をつなぎ、地域づくりに貢献する

## 単位スポーツ少年団登録数

団員  
約52万6千人

指導者・役員・  
スタッフ  
13万4千人



団数：**約2万5千団**(令和7年度10月1日現在)

スポーツ少年団に登録している子どもや団に関わる大人や保護者に直接的にアプローチ

# スポーツ少年団 vol.2



## 日本スポーツ少年団主催事業の一例



インジ ヨイ!スポーツフェスティバル  
[全国交流大会]  
(軟式野球/バレーボール/  
剣道)



日独スポーツ少年団  
同時交流(1974年～)  
➡日独青少年スポーツ  
交流(2026年～)



指導者を対象とした  
研修会

大会や研修事業におけるマーケティング活動の実施  
地域における子どものスポーツ環境の充実に向けた支援



Sports XEBIO Victoria × JSPO

書き対策に備えて、成長できる夏にしよう!

## スポーツ 得 クーポンブック!

**チーム代表者様へ**

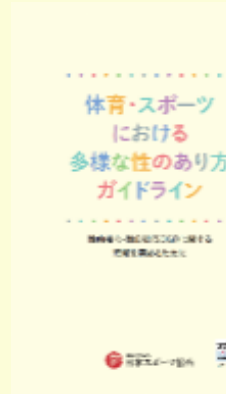
ゼビオ Sports XEBIO・ヴィクトリア Victoria で使えるクーポンが、**100**枚あります。チームメンバーへお配りください。

<p>店舗で使える</p> <p>2024年11月30日◎まで</p> <p><b>10%割引クーポン</b></p> <p>クーポンを使うには</p> <p>・税込5,500円以上ご購入</p> <p>・スポーツポイント会員証の提示</p>	<p>公式オンラインストアで使える</p> <p>2024年11月30日◎まで</p> <p><b>10%割引クーポンコード</b></p> <p>クーポンを使うには</p> <p>公式アプリ、オンラインストアから「クーポンコード」を入力してください。</p>
---	--

クーポンをきっかけに子ども世代にゼビオのサービスに触れる機会を創出し、売り上げに貢献

スポーツ少年団登録情報を活用し、自社クーポンをスポーツ少年団に直接送付することによるアプローチ

# スポーツ医・科学研究



企業との共同研究事業

研修会・イベント事業

教育・啓発ツールの開発事業

<研究分野(一例)>

- ◆熱中症事故予防
- ◆アンチ・ドーピング教育・啓発
- ◆環境・気候変動対策
- ◆LGBTQ+などの多様な性の尊重
- ◆子どもの発育発達
- ◆人権侵害防止

スポーツ医・科学分野に関する共同研究の実施  
科学的根拠に基づいた、社会課題の解決に向けた取組への協力

JSPPOが「スポーツ活動における熱中症事故予防研究班」を設置したことをきっかけに、大塚製薬は1992年から**熱中症対策の啓発活動**で連携を開始。



- ガイドブック、ビデオ、パンフレット等の普及啓発教材の制作・配布
- スポーツ少年団を対象としたセミナーの開催
- JSPPO広報紙「Sport Japan」への広告記事掲載
- JSPPO推奨品として製品の展開



## 熱中症対策のリーディングカンパニーに



共同研究活動の他、研究成果を用いたプロモーション、販促活動の展開

# 国際スポーツ交流



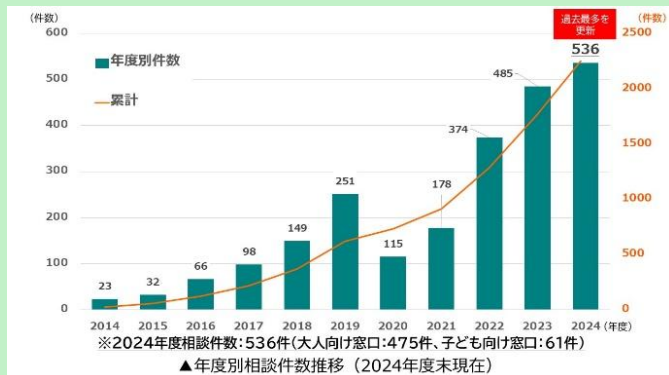
青少年育成プログラムの  
実施  
(日韓・日中・日韓中)

ドイツ・韓国・中国との  
交流事業の開催

ASEAN諸国との連携・協働  
(タイ・マレーシア)

スポーツを通じた国際交流への支援

# 「NO！スポハラ」



## ハラスメント 防止・啓発セミナーの開催

○年4回程度



## 相談窓口の開設

- HP相談フォームによる受付
- 弁護士による電話相談窓口 (週2回)

## 情報コンテンツの発信

- 保護者や指導者向け動画コンテンツの作成
- アスリートメッセージの発信

「スポーツ・ハラスメント」に対する課題解決への協力を通じた  
企業イメージの向上